

令和7年度 産業動物臨床実習研修・行政体験研修の実施について

— 募集要領 —

本事業では、獣医学を専攻する学生に対し、経験豊かな獣医師による臨床実習研修、行政体験研修等の開催により、獣医学を専攻する学生の産業動物診療及び公務員分野への参入意欲を醸成し、これらの分野における獣医師の育成・確保を図ることを目的とする。

1 受講手続き

研修の受講手続きは Web 上での手続きとし、以下に従い期日までに申込等を行ってください。なお、本研修に係る事務の一部は、家畜衛生対策推進協議会（以下、「当協議会」という。）が委託する JTB を通じて行うこととしております。

（1）研修の申込み

受講を希望する方は、受講申込 URL (<https://amarys-jtb.jp/rinshou2025/>) にアクセスして、「臨床実習等支援事業（2025）」から申込みを行ってください。申込みに当たっては、受講決定後本人都合による辞退等の無いよう、時期等をよく検討の上、申込みを行ってください。なお、家畜伝染病の発生等により、研修機関によっては開催できなくなる場合がありますので、予めご了承ください。

また、防疫上の観点から、海外旅行は行わないよう、特にご注意願います。

（2）受講者の決定

- ・今年度の募集人数は 300 名程度です。
- ・受講希望者が募集人数を超えた場合には、調整させていただきます。
- ・当協議会で受講希望を取りまとめ、精査等を行った上で受講者を決定し、受講決定者、所属大学、実習・研修実施機関等に通知します。

（3）受講者に助成する経費

ア 交通費

在籍大学から研修場所までの交通費（片道）を助成することとし、JR、航空券等のチケットを発券します。なお、助成する交通費は、Web 上から申請する場合に限ることとします。また、助成する経路以外の経路によるもの、研修前後に係る私用の移動、研修期間中の交通費については助成の対象外です。

イ 宿泊料

研修中に宿泊を必要とする場合、研修前日から研修最終日までの宿泊費を助成することとし、宿泊券を発券します。助成する宿泊料は、Web 上から申請する場合に限ることとし、上限は 1 泊 5,000 円、6 泊（前後泊含む）までとします。上限額を上回る場合は、上回る額を研修受講者が定められた方法で納入して下さい（Web 上で交通費及び宿泊料の助成申請した後、自己都合により研修を辞退される場合は、キャンセル料が発生します）。

なお、研修への参加費は必要ありません。また、研修期間中の傷害及び損害保険は、本協議会で対応します。

2 研修の開催予定場所・時期

(1) 臨床実習研修

- A 酪農学園大学 (牛) 令和7年8月18日(月)～8月22日(金)
江別市文京台緑町582 電話:011-386-1111
- B 岩手大学 (牛) 令和7年8月25日(月)～8月29日(金)
盛岡市上田3-18-8 電話:019-621-6224
- C 麻布大学 (豚) 令和8年2月23日(月)～2月27日(金)
相模原市中央区淵野辺1-17-71 電話:042-754-7111
- D 山口大学 (馬) 令和7年8月18日(月)～8月22日(金)
山口市吉田1677-1 電話:083-933-5873
- E 宮崎大学 (牛) 令和7年8月12日(火)～8月15日(金)
宮崎市学園木花台西1-1 電話:0985-58-7280
- F 鹿児島大学 (牛) 令和7年8月18日(月)～8月22日(金)
- G 鹿児島大学 (牛) 令和7年9月15日(月)～9月19日(金)
- H 鹿児島大学 (馬) 令和7年8月18日(月)～8月22日(金)
- I 鹿児島大学 (馬) 令和7年9月15日(月)～9月19日(金)
- J 鹿児島大学 (総合) 令和7年8月25日(月)～8月29日(金)
- K 鹿児島大学 (総合) 令和8年2月23日(月)～2月27日(金)
曾於市財部町南俣 電話:0986-72-2090

鹿児島大学 (F～K) については「共同獣医学部附属南九州畜産獣医学教育研究センター」に於いて実施します。

L 日本養豚開業獣医師協会 (豚)

時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。

事務局:つくば市西大井1704-3 電話:029-875-9090

- M 北海道日高獣医師会 (馬) 令和7年9月1日(月)～9月5日(金)
事務局:北海道日高振興局内 電話:0146-22-9348

N ぐんま酪農業協同組合 (ぐんま酪農家畜診療所)

時期については、受入側と相談して決まります。

事務局:ぐんま酪農指導課 電話:027-266-7733

O 各農業共済組合

時期及び研修場所については、受入側と相談して決まります。

- (ア) 千葉県農業共済組合 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話:043-245-74554
- (イ) 長野県農業共済組合 長野市大字中御所字岡田79-5 電話:026-217-5815
- (ウ) 愛知県農業共済組合 名古屋市中区丸の内2-1-11 電話:0566-45-5618
- (エ) 兵庫県農業共済組合 神戸市中央区下山手通4-15-3 電話:078-332-7161
- (オ) 島根県農業共済組合 出雲市渡橋町748-1 電話:0853-22-1478
- (カ) 岡山県農業共済組合 岡山市中区倉田436-2 電話:086-230-5575
- (キ) 広島県農業共済組合 広島市東区光町1-2-23 電話:082-262-4711
- (ク) 愛媛県農業共済組合 松山市二番町4-4-2 電話:089-941-8135
- (ケ) 鹿児島県農業共済組合 鹿児島市鴨池新町12-4 電話:099-255-6161
- (コ) 沖縄県農業共済組合 那覇市古波蔵1-24-27 電話:098-833-8133

P 各都道府県の家畜保健衛生所等において、5日間程度の研修を実施します。

＜受講可能時期＞

①	令和7年8月4日(月)	～	8月8日(金)	5日間
②	令和7年8月12日(火)	～	8月15日(金)	4日間
③	令和7年8月18日(月)	～	8月22日(金)	5日間
④	令和7年8月25日(月)	～	8月29日(金)	5日間
⑤	令和7年9月1日(月)	～	9月5日(金)	5日間
⑥	令和7年9月8日(月)	～	9月12日(金)	5日間
⑦	令和7年9月16日(火)	～	9月19日(金)	4日間
⑧	令和7年9月24日(水)	～	9月26日(金)	3日間
⑨	令和7年9月29日(月)	～	10月3日(金)	5日間

[illegible]

3 応募資格、募集人数

- (1) 応募資格 : 獣医学部(学科)在籍者
(2) 募集人数 : 300名(臨床実習150名、行政体験研修150名)

【臨床実習研修】

各大学、NOSAI等 150名程度(2～5年生)

A 酪農学園大学(牛)	10名	(4～5年生)
B 岩手大学(牛) ベーシックコース	6名	(3～4年生)
スキルアップコース	2名	(5年生) *獣医師共用試験合格者
C 麻布大学(豚)	10名	(4～5年生)
D 山口大学(馬)	10名	(4～5年生)
E 宮崎大学(牛)	5名	(3～5年生)
F 鹿児島大学(牛)	8名	(3～5年生)
G 鹿児島大学(牛)	8名	(3～5年生)
H 鹿児島大学(馬)	8名	(2～5年生)
I 鹿児島大学(馬)	8名	(2～5年生)
J 鹿児島大学(総合)	8名	(2～5年生)
K 鹿児島大学(総合)	8名	(2～5年生)
L 日本養豚開業獣医師協会(豚)	10名	(2～5年生)
M 北海道日高獣医師会(馬)	2名	(2～5年生)
N ぐんま酪農業協同組合 (ぐんま酪農家畜診療所)	3名	(2～5年生)
O 各県農業共済組合		
(ア) 千葉県農業共済組合	10名	(2～5年生)
(イ) 長野県農業共済組合	3名	(2～5年生)
(ウ) 愛知県農業共済組合	3名	(2～5年生)
(エ) 兵庫県農業共済組合	40名	(2～5年生)
(オ) 島根県農業共済組合	6名	(2～5年生)
(カ) 岡山県農業共済組合	6名	(2～5年生)
(キ) 広島県農業共済組合	5名	(2～5年生)
(ク) 愛媛県農業共済組合	3名	(2～5年生)
(ケ) 鹿児島県農業共済組合	57名	(2～5年生)
(コ) 沖縄県農業共済組合	12名	(2～5年生)

【行政体験研修】

P 行政体験研修(都道府県) 150名程度 (1～5年生)

4 カリキュラムの概要

(1) 臨床実習研修（大学実施カリキュラム等）

A 酪農学園大学（対象家畜：牛） 令和7年8月18日（月）～8月22日（金）

動物病院において、症例を用いて臨床診断・治療法を、また農場において診療・疾病予防の実際を学ぶ。

日目	AM 9:00～12:00	PM 13:00～17:00
1	・開講式 オリエンテーション ・雌牛の生殖器検査と人工授精の基本 ・屠体生殖器を用いた人工授精 ・屠体生殖器を用いた超音波検査	・実習牛を用いた人工授精 ・実習牛を用いた超音波検査実習
2	・乳牛群の健康管理とモニタリング (大学農場における実習)	・牛群データ処理及び検討会
3	・牛の身体検査と臨床検査の基礎	・患畜の身体検査と臨床検査による病態診断
4	・牛の内科診断と外部農場診療活動	
5	・牛の運動器疾患の診断と治療 ・屠体蹄やモデルを用いた削蹄実習	・農場での削蹄実習 ・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

B 岩手大学（対象家畜：牛） 令和7年8月25日（月）～8月29日（金）

牛の診療の基本、牛のハンドリングやロープワーク等を含めた治療の基本手技及び繁殖関連疾病の診断と治療の実際や病理解剖について学ぶ。ベーシックコースとスキルアップコースがあります。共用試験合格者はスキルアップコースにお申し込み下さい。

日目	AM 9:00～12:00		PM 13:00～17:00	
	ベーシックコース	スキルアップコース	ベーシックコース	スキルアップコース
1	・開講式、オリエンテーション ・産業動物臨床の基本		スキルスラボ実習	一般診療の基本
2	牛のハンドリングと診療の実際	牛の繁殖機能検査	夏季放牧実習（学外）	
3	搾乳・飼料給餌 ミルキングシステム実習（学外）		一般診療の基本	農場実習
4	院内実習	院内実習	プレゼン実習準備	
5	・院内実習 ・病理解剖診断実習		・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）	

*宿泊は、岩手大学附属御明神牧場（岩手県岩手郡雫石町御明神大石野）の宿泊棟を利用しますが、うち一泊は外部で宿泊予定。

*長靴・つなぎは本学で用意します。聴診器・スクラブは各自用意してください。

*大学と御明神牧場の送迎有。

C 麻布大学（対象家畜：豚）

令和8年2月23日（月）～2月27日（金）

学内実習場において、衛生管理技術等の習得とともに内科学的診断・治療法、繁殖障害の診断・治療法を学ぶ。

日 目	AM 9:00～12:00	PM 13:00～17:00
1	・開講式 ・オリエンテーション ・豚について（座学）	・豚の一般検査実習 （豚のハンドリング、試料採取法） ・豚の血液検査法
2	・豚の病理解剖法（座学） ・病原体検索法	・病豚の病理解剖実習 ・病原体検索実習（採材法）
3	・豚の栄養学（座学） ・豚の繁殖学（座学）	・豚臨床繁殖実習 （発情観察、妊娠鑑定手法、直腸検査法） ・病原体検索実習（細菌検査）
4	・豚の感染症（座学）	・病原体検索実習（PCR 検査） ・養豚に関わる獣医師の仕事1（座学） ・養豚に関わる獣医師の仕事2（座学）
5	・病理切片観察 ・発表会資料作成	・症例発表会、総合討論 ・閉講式（修了証の授与）

D 山口大学（対象家畜：馬） 令和7年8月18日（月）～8月22日（金）
馬の救急医療に必要な知識および技術を山口大学のHands-on プログラムと Case discussion を通して学ぶ。

日目	AM 8:30～12:00	PM 13:00～17:00	その他
1	8:30 農学部・共同獣医学部棟 4 番講義室集合 ・オリエンテーション ・救急医療の基礎（医療面接、診察、保定、採血、注射法、経鼻・経口投与法、歯科）	・眼科実習 （各種検査法、局所麻酔法、角膜縫合、結膜フラップ、点眼留置、眼瞼縫合、超音波検査、眼球解剖、学内見学）	情報交換会
2	・循環器実習 （心臓疾患の病態と病理解剖法、心電・心音図検査、超音波検査）	・呼吸器実習 （内視鏡検査、気管支肺胞洗浄、超音波検査、永久気管開口術、円鋸術、喉頭形成術）	症例検討会 ディスカッション
3	・跛行診断実習 （歩様検査、触診、超音波検査、診断麻酔法）	・消化器内科実習 （疝痛診断治療、合併症、直腸検査、超音波検査、腹水検査、腹腔探查（シミュレーター）・腸管縫合、経鼻胃カテーテル）	症例検討会 スライド作成
4	・画像診断実習（X線撮影法、フィルムリーディング、四肢局所解剖、CT、MRI、核医学）	・整形外科実習（キャスト固定） ・AO 法による整形外科 （Lag、ワイヤー、DCP、LCP）	症例発表会 反省会
5	・繁殖実習（馬の繁殖疾患） ・生殖器解剖	・麻酔実習（倒馬・覚醒法、麻酔管理） ・病理解剖 ・17:00～修了証授与・総括・解散	

*持参品： つなぎ、帽子、聴診器、秒針つき時計、
プレゼンテーション用ノートパソコンもしくはタブレット。
*大学 ⇄ ホテル間の移動は毎朝ホテル前より出発するタクシーに乗車します。
*実習中の長靴は大学で用意します。

E 宮崎大学（対象家畜：牛） 令和7年8月12日（火）～8月15日（金）

症例を用いて基礎的な臨床診断技術および治療法、附属農場において繁殖障害の診断と治療、また、牛の感染症（口蹄疫）と防疫について学ぶ。

日 目	AM 9:00～12:00	PM 13:00～17:00
1	・開講式、オリエンテーション ・牛の臨床検査①（講義） ・身体検査、臨床検査 （血液検査、尿検査、第一胃検査）	・牛の臨床検査①（実習） ・身体検査、臨床検査 （血液検査、尿検査、第一胃検査）
2	・牛の臨床検査②（実習） 症例牛の臨床検査と生前診断	・牛の臨床検査②（実習） ・解剖実習（症例牛の総合診断）
3	・牛の臨床検査③（講義） 繁殖機能検査（膣検査、直腸検査、 超音波検査）	・牛の臨床検査③（実習） 繁殖機能検査（膣検査、直腸検査、 超音波検査）
4	・牛の感染症（講義）：口蹄疫 ・牛の感染症（演習）：防疫演習	・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

F 鹿児島大学（対象家畜：牛） 令和7年8月18日（月）～8月22日（金）

G 鹿児島大学（対象家畜：牛） 令和7年9月15日（月）～9月19日（金）

牛の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

日 目	AM 8:50～12:00	PM 13:00～16:00
1	・開講式（11:15～） ・オリエンテーション	・牛のハンドリングと臨床検査（講義①） ・牛の繁殖検診（講義②）
2	外部牧場（霧島市）実習 ・乳牛の繁殖検診 ・酪農自動化システム見学	移動（SKLV） ・牛の採血と治療法（講義③）
3	・牛の一般診療（講義④） ・牛のハンドリングと一般診療（実習②）	・牛の画像検査（講義⑤） ・牛の画像検査（実習③）
4	・牛農場のバイオセキュリティ（講義⑥） ・農場出入口、敷地、牛舎、車両の消毒 （実習④）	・牛の感染症と疫学（講義⑦） ・疫学実習（実習⑤）
5	・牛の外科手術（講義⑧） ・牛の治療（実習⑥）	・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

H 鹿児島大学（対象家畜：馬） 令和7年8月18日（月）～8月22日（金）

I 鹿児島大学（対象家畜：馬） 令和7年9月15日（月）～9月19日（金）

馬の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

日 目	AM 8:50～12:00	PM 13:00～17:00
1	・開講式（11:15～） ・オリエンテーション	・13:15 講義：防疫・衛生 ・SKLV 施設見学
2	・講義：馬学、身体検査	・実習：個体識別、身体検査、ハンドリング、乗馬、ホースセラピー
3	・講義：外科学、画像診断	・実習：X線検査、超音波検査、 ハンズオン実習
4	・講義：麻酔学、繁殖学	・見学：日本軽種馬協会九州種馬場 ・実習：ハンズオン実習
5	・講義：呼吸器疾患、感染症 ・実習：内視鏡検査	・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

J 鹿児島大学（総合：牛・馬・豚・鶏） 令和7年8月25日（月）～8月29日（金）

K 鹿児島大学（総合：牛・馬・豚・鶏） 令和8年2月23日（月）～2月27日（金）

牛、馬、豚、鶏の臨床現場で必要とされる基礎的な臨床検査及び診療技術について学ぶ。

日 目	AM 9:00～12:00	PM 13:00～16:00
1	・開講式（11:15～） ・オリエンテーション	・養豚場へ移動：豚の飼養管理 (ハンズオン実習) ・SKLV へ移動：豚の飼養管理（講義）
2	・馬学・身体検査（講義）	・馬の身体検査、ホースセラピー 乗馬（実習）
3	・牛のハンドリングと臨床検査（講義） ・牛のハンドリング（実習）	・牛の一般診療と治療法（講義） ・牛の一般診療と治療法（実習）
4	・鶏の特定家畜伝染病防疫（HPAI）病態 （講義、実習）	・日本軽種馬協会（または霧島第一牧場）、 施設見学と概要説明
5	・防疫・衛生（講義）、農場消毒（実習）	・総合ディスカッション ・閉講式（修了証の授与）

注）鹿児島大学（F～Kの実習）については、曾於市南俣にある大学附属南九州畜産獣医学教育研究センターに於いて実施されます。宿泊は施設内、宿泊棟を利用します。

L 日本養豚開業獣医師協会（対象家畜：豚）

現役で活躍している養豚専門獣医師の診療活動に同行して、疾病の診断・治療を学ぶとともに、農場全体としての飼養衛生管理指導等を学ぶ。

M 北海道日高獣医師会（対象家畜：馬）

北海道日高管内において、馬の診療活動等に同行し、疾病の診断・治療並びに飼養衛生管理指導等を学ぶ。

N ぐんま酪農業協同組合（ぐんま酪農家畜診療所）（対象家畜：牛）

組合の酪農家畜診療所において、牛の診療活動等に同行し、疾病の診断・治療並びに飼養衛生管理指導等を学ぶ。

O 農業共済組合（対象家畜：乳牛、肉牛）

農業共済組合等の診療施設で、また獣医師職員に同行して、疾病の診断・治療、飼養衛生管理指導等を学ぶ。

（２）行政体験研修（カリキュラムの事例）

P 都道府県の家畜保健衛生所を中心として、畜産農家に対する防疫・衛生指導、室内検査等の行政機関勤務獣医師の業務を学ぶ。

行政体験研修カリキュラム事例

日目	午 前	午 後
1	（随時移動）又は（研修実施）	オリエンテーション 家畜保健衛生所の業務概要等の説明
2	家畜伝染病予防法に係る巡回検査 牛結核病、ブルセラ病、ヨーネ病	検査室業務 牛ヨーネ病検査、糞便検査
3	病性鑑定業務 病理解剖（牛・豚）	検査室業務 細菌検査実習等
4	飼養衛生管理指導（農家巡回等）	検査室業務 血液検査、染色法
5	病性鑑定業務 病理組織検査、細胞観察等 研修終了に伴う感想等意見交換	（移動随時）又は（研修実施）

（注） 行政体験研修のカリキュラムは、受講する家畜保健衛生所の業務の実施状況等によりそれぞれ異なりますのでご留意願います。

5 受講者受付期間

令和 7 年 5 月 26 日（月） ～ 令和 7 年 6 月 16 日（月）

6 問合わせ先

家畜衛生対策推進協議会

（事務局：公益社団法人中央畜産会 衛生指導部）

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-16-2

第2ディーアイシービル9階

電話：03-6206-0832（担当：鈴木、松本）

Fax：03-5289-0890

なお、本会から直接電話連絡する場合には、03-6206-0832 又は 0835 からとなります。

メールアドレス：rinshou@sec.lin.gr.jp

中央畜産会ホームページ：https://jlia.lin.gr.jp